

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院救命救急センターで治療を受ける
患者さん・ご家族のみなさんへ

「HCUにおける Refeeding 症候群のリスク患者の疫学調査」について

(1) 研究の目的

Refeeding 症候群は、栄養不良患者様に再度栄養投与することにより生じる、致命的な代謝合併症として知られていますが、現在でもその病態について完全には解明されておられません。栄養不良が Refeeding 症候群に影響を与えるリスクとして最も高いとされていますが、救急搬送される重症な患者さんが入室する救命救急センターでも例外ではありません。欧州静脈経腸栄養学会ガイドライン 2019 でも Refeeding 症候群の予防・治療は重要視されております。前回、我々は ICU で Refeeding 症候群の疫学調査を行いリスク上昇により死亡率が上昇することを発表しました。

今回、当院救命救急センター(HCU)に入室した患者さんに対して、National Institute for Health and Clinical Excellence (NICE)の Refeeding 症候群のリスクに該当するか、また、その頻度と予後について検討を行います。本研究は聖マリアンナ医科大学生命倫理委員会の承認を得て行っております。

(2) 研究の方法

2016年12月1日～2019年4月30日に当院救命救急センターに入院された患者さんが対象となります。患者さんの年齢、身長、体重、BMI、体重減少率、栄養摂取量、栄養摂取不良期間、アルコール乱用の有無、インスリン・化学療法・制酸薬・利尿薬使用の有無、既往歴と Refeeding 症候群のリスクの4分類の該当項目(リスクなし、低リスク、高リスク、超高リスク)の情報を収集します。

本調査は純粋な調査研究であり、患者さんへの直接的な介入や侵襲はなく、いかなる利益・不利益も生じません。また、情報はすべて仮名化され、個人が同定されることは決してありません。

※この研究の対象となられる方で、ご自分あるいはご家族の情報を登録されたくない場合には、2022年11月30日までに下記連絡先までご連絡下さい。お申し出のあった患者さんの情報は削除し、研究データとして使用することはありません。また、お申し出により何ら不利益を被ることはありません。なお、2022年11月30日までにお申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

連絡先

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 救命救急センター

住 所：〒241-0811 横浜市旭区矢指町 1197-1

電 話：045-366-1111 (代表)

担当看護師：鈴木 雅子